
一般講演・ポスター発表 P-06

外来種ミシシippアカミミガメ *Trachemys scripta elegans* の防除の効果

三木佑介・谷口真理・三根佳奈子・亀崎直樹 (神戸市立須磨海浜水族園)

Effectiveness of removal of red-eared sliders, *Trachemys scripta elegans*

Yusuke MIKI, Mari TANIGUCHI, Kanako MINE and Naoki KAMEZAKI (Kobe-Suma Aquarium)

兵庫県明石市を流れる谷八木川(全長約4.6km)において外来種ミシシippアカミミガメ(以下、アカミミガメ)の防除を実施し、防除前後の動物相を記録した。調査は事前調査、防除、事後調査に分けて行い、事前調査は5月に1回、防除は5-6月に計15回、事後調査は7-11月に各月1-2回の計7回、合計23回実施した。各調査は亀捕獲専用の網(以下、亀網、W56cm×D70cm×H50cm)及び魚類捕獲専用の網(以下、魚網、W26cm×D37cm×H26cm)を用いて行い、網は夕方仕掛けて、翌日の朝に引き上げた。合計23回の調査で亀網合計延べ1559個、魚網延べ181個仕掛けた。なお、事前調査は魚網のみ、防除は亀網のみで行った。密度は、1網あたりに捕獲した個体数(Catch Per Trap, 以下CPT)を用いた。また、アカミミガメの分布域の変化を評価するために、キャッチ率(Rate of Catch, 以下RC)を、アカミミガメが捕獲された網数

を設置した網数で除して求めた。合計23回の調査によって1747匹のアカミミガメを防除した。防除開始直後の5月に2.1であったアカミミガメのCPTは、徐々に減少し10月には0.6と激減した。また、RCにおいても防除開始直後5月は51%であったのに対し、徐々に減少し、10月は28%となり、防除の効果がみられた。谷八木川で捕獲した魚類は5目11科16属15種(ヨシノボリ属の未同定種を除く)、甲殻類は1目4科6属3種(スジエビ属、テナガエビ属、ヌマエビ属の未同定種を除く)、両棲爬虫類は2目5科7属9種の合計8目20科29属27種で、その内防除後のみに4目6科7属7種が確認された。これがアカミミガメの防除による効果なのかは不明であるため、今後も引き続き調査を続けることが必要である。